

# 2024年度 園の自己評価

南ヶ丘こども園

保育理念	<p>「自分が好き」「人が好き」「笑顔が好き」</p> <p>たくさんの“好き”的気持ちがあふれる場所関わる全ての人の“生きる力”をはぐくみます。</p>			
保育目標	<p>きちんとした生活、元気なからだ、ゆたかな心</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・身の回りの事がきちんと自分でできる！</li> <li>・安全や清潔に気を付けて健康で心地よい生活ができるようにする</li> <li>・背筋を伸ばして姿勢よく座る</li> </ul> <p>・見てて見てて！できた！またやりたい！の達成感が育てます。</p> <p>・絵本の読み聞かせの充実</p> <p>・安田式遊具の取り組み</p>			
中期目標		本年度の重点目標		
①組織体制の整備 ②人財育成・確保体制及び、育成校との連携 ③学生対象、保育体験、保育ボランティアの受け入れ ④課外教室の導入 介護空き教室の活用 ⑤キャリアパスをイメージした研修体制 ⑥ICT化を準備、検討する		法人 ①社会福祉法人としての公益的な活動の推進 ②生活困窮者への支援体制の整備及び基金への拠出 大阪しあわせネットワークとの連携 ③労働環境の改善 ④感染症拡大防止策を策定し実践する		
自己評価(保育の計画・健康及び安全・職員の資質向上と自己評価)の3領域				
領域	評価の視点	評価項目	達成状況	今年度の状況
保育の計画	(1)保育課程の編成	保育所保育指針、幼稚園教育要領に示されたねらい、内容を取り入れた編成	A	
	(2)指導計画の作成と展開	長期・短期計画の作成	A	保育課程、年間保育計画を立てその計画に基づいた教育保育の実践が、行われている
		生活の連続性・子どもの姿を考慮	A	発達、習熟を見ながら、こども主体にした保育の実践
	(3)発達過程に応じた保育	未満児への個別計画	A	一人一人に寄り添った計画と振り返りを行う
		幼児への共同的な活動の促し	A	こども主体保育を意識したPDCAのサイクル
	(4)特別支援保育の対応	指導計画への位置づけ	A	個別の計画を立てクラス担任が、連携して配慮している
健康及び安全		保護者・関係機関との連携	A	巡回相談にて、専門の先生による発達検査、相談等保護者とともにを行う
	(5)関係機関との連携	関係校区、小学校との連携	A	あそびの交流や運動会の練習の見学で小学校へ
		保護者・地域との連携	A	育児教室や園庭開放、季節ごとのイベントの企画
	(1)子どもの健康支援	健康状態等の把握と疾病等への対応	A	看護師による専門的、かつ丁寧な対応
資質員向上	(2)環境及び衛生管理・安全管理	設備・用具などの衛生管理	A	
		安全点検・避難訓練等の実施	A	月初めに、担当保育教諭が安全チェックを行います。避難訓練は月1回実施
	(3)食育の推進	食育計画の作成と実践	A	
		アレルギーなどへの対応	A	要領書に基づき対応
	(1)施設長の責務	法令順守・職員指導・研修への促し	A	
	(2)自己研鑽	研修等への積極的な参加	B	園内研修やリモート研修は充実してきたが、園外に出る研修は少なかった
	(3)目標管理	一年間の目標設定と振り返り	A	振り返りはクラス単位で行う

達成状況 A:良好 B:おおむね良好 C:やや改善 D:要改善  
(評価)